

東京2020 パラリンピック聖火へつないだ 岩国市の火～つなぐ思いが誰かの光に



①煙が出てくるまでまいざり式発火具を上下に動かし続けるのは体力勝負！煙が出てからもまだまだ回します ②火打ち石にもチャレンジ！火打ち石に火打ち金をぶつけて火花を散らします。手にまめができるほど頑張りました ③みんなで力を合わせて起こした火を採火皿へ、これで採火式への準備完了！

Iwakuni City Topics

まちの話題

岩国市パラリンピック採火式

8月16日、今津町第3街区公園で「岩国市パラリンピック火おこしイベント・採火式」を開催しました。

最初に行われた火おこしイベントでは岩国総合支援学校の生徒とその保護者がまいざり式発火具や火打ち石を使って種火を起こしました。その後、採火皿に移された種火から福田良彦市長と山口パラアスリートの白石美祈さんがランタンに火をともし、岩国市の火を誕生させました。

山口県に集火された岩国市の火は、8月24日に日本各地で採火された炎とともに東京2020パラリンピックの聖火となりました。





楽しい夏祭り

8月4日、ほんごう保育園で夏祭りが開催されました。園児たちは浴衣や甚平に身を包み、手作りのおみこしを中心に元気いっぱい音頭を踊っていました。

園児たちは、お菓子などを魚に見立てた釣りや、もぐら叩きゲームを楽しんだ後、ソーセージや焼きそばなど屋台風の給食を満面の笑みで頬張っていました。



きれいな柄に染められるかな！？

8月2日、周東町の緑町集会所で藍染教室が開催されました。講師の指導の下、ストールやTシャツ、バンダナにビー玉や箸、輪ゴム、洗濯ばさみなどを使ってイメージした柄になるように染めていきました。参加者は苦戦しながらも色鮮やかな作品を完成させました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



英語で楽しくワークショップ

8月12日、錦町広瀬でグラスデコ作りの教室が開催されました。講師は今年5月に錦町に移住したイラン人のハミッドさん。作り方の説明や質問に子供たちは元気な英語で答えていました。イランの生活や文化の紹介を聞いた後、透明の板に絵の具をのせて個性ある色とりどりのマンダラ模様を仕上げていきました。



素材を生かした木工製品作りにチャレンジ

8月10日、美川コミュニティセンターでトム・ソーヤクラブ「トンカチ教室」が開催されました。

児童たちは木目を生かして家具や小物などを作る方法を教わり、角イスや写真立てを丁寧に作っていました。慣れない作業に苦戦しながらも、最後まで一生懸命取り組み、夏休みの良い思い出となる1日になりました。



プログラミングで ロボットを動かそう

8月20日、玖珂小学校で岩国工業高校機械科の生徒を講師を迎え、夏休みこどもプログラミング教室が開催されました。参加者はパソコンのソフトを使ってロボットを制御するプログラミングに挑戦しました。初めは慣れない操作に戸惑っていましたが、次第に自分でプログラミングする楽しさに夢中になって取り組んでいました。



見て、触って、学んで、楽しいシャボン玉

8月18日・19日、科学センターで「夏の日をジャンボシャボンで楽しもう！」が開催されました。参加した小学3～6年生は、シャボン液を使ったさまざまな実験を通して表面張力について学びました。子供たちは真剣に取り組み、実験が成功した時にはうれしそうな表情をしていました。



インターンシップで集落支援を学ぶ

8月25日、広島修道大学の学生2人が美和町を訪れ、集落支援員が支援している地域で活動体験をしました。地域の現状や活動内容についての説明を聞いた後、長谷地域に行き、和紙での紙すきを地元の人々の指導の下行いました。2人は体験を通して集落支援の現状や課題を学びました。



理科って命を守るために学ぶ科目だったんだ！

8月22日、由宇中学校体育館で「青少年サイエンスセミナー2021夏」が開催されました。

参加した児童・生徒は、近年問題となっている新型コロナウイルスや自然災害について、ウイルス模型や燃料電池車を工作しながら理解を深めました。将来に役立つ知識や経験が身に付く有意義なセミナーとなりました。